

阪堺線の活性化策に関する市民提案用紙

<p>ふりがな 氏名・グループ名</p>	<p>省略</p>
<p>住 所</p>	
<p>電話番号</p>	
<p>提 案 内 容</p>	
<p>活性化策の内容</p>	<p><b>中高生を対象とした阪堺線への提案募集</b></p> <p>市内在住の高校生、中学生に阪堺線を対象とした交通のあり方についての研究活動を推奨、活性化策とともに、堺について考えてもらう。</p> <p>80年代初頭、泉陽高校学生による阪堺線に関する高次な意見が発表されていた。 (記事参照 1981年6月 朝日新聞)</p> <p>阪堺線、市内交通について研究する事は、そのまま堺市の歴史、現状と将来について考察することにつながるものであり、時代を担う中高生に、その機会を得てもらいたい。</p> 
<p>実施主体</p>	<p>堺市、教育委員会、他</p>
<p>活性化策による効果</p>	<p>市域拡大の歴史的経緯から、ともすれば対立と諦観に陥りがちな市民の意識に対し、若い視点から一石を投じてもらう。</p>

## 阪堺線の活性化策に関する市民提案用紙

ふりがな 氏名・グループ名	省略
住 所	
電話番号	
<b>提 案 内 容</b>	
活性化策の内容	<p><b>阪堺線 再生過程の記録と対外発信</b></p> <p>この十数年の経緯を中心に、何度も危機に瀕してきた阪堺線の、存続から再生への過程を記録し、積極的に外部に発信する</p> <p>阪堺線の場合、特にこの半年の動向は絶望的とも言えるものであっただけに、これを存続再生し、また地域交通全体のあり方も改善できれば、市のイメージが劇的に回復するだけでなく、交通問題を抱える多くの自治体に対し、強力なメッセージを提示する事ができるものと確信する。</p> <p>市長、議会、市役所、そして市民の交通問題に関する覚醒と行動力は、本邦における都市交通の歴史に大きな影響を与えるに違いない。</p>
実施主体	堺市
活性化策による効果	<p>公共交通界における堺市のイメージをV字回復</p> <p>交通問題を抱える自治体、地域に強力な指針を提示</p>

阪堺線の活性化策に関する市民提案用紙

<p>ふりがな 氏名・グループ名</p>	<p>省略</p>
<p>住 所</p>	
<p>電話番号</p>	
<p>提 案 内 容</p>	
<p>活性化策の内容</p>	<p><b>東西方向の鉄軌道検討</b></p> <p>将来構想の話題となるが、東西方向の鉄軌道の必要性については引続いての検討を期待したい。堺市レベルでも、また大阪府全体の視点からも、大阪南部に何らかの東西鉄軌道は検討されてしかるべきものとする。</p> <p>昨秋までの旧 LRT 計画に固執するものではない。</p> <p>ルートその他各方面において、慎重に、かつ十分な合意形成の上で検討されることを望みたい。</p> <p>参考までに、巷間で余り知られていない過去の東西鉄軌道計画を示す。申請時期は、ともに大正 14～15 年頃。（路線名は提案者仮称、地名、道路名は現在に置換）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>堺市内路面電車計画（南海軌道線）</b></li> </ul> <p>既設<b>阪堺線</b>＝南北＝（恵美須町－浜寺駅前）、<b>大浜線</b>＝東西＝（大浜海岸－宿院）に接続して、下記計画を立案。</p> <p><b>第二南北</b>＝住吉－浜寺（現 26 号線）、<b>第三南北</b>＝帝塚山－堺東－神石－石津（現 13 号線）<b>第二東西</b>＝海山町－綾ノ町－砂道、<b>第三東西</b>＝安井町－寺地町</p> <p>当時の堺市中心域を対象に、公共交通の基本である「基盤の目の路線網」の形成が意図されていたことがうかがえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>南海高田延長計画（高野線支線）</b></li> </ul> <p>堺東－黒土－金岡－八下－丹南－埴生－古市－当麻－大和高田（丹南付近までの経路は、ほぼ中央環状と一致）</p> <p>南海の大和延長計画は、明治 19 年の時点で既に勃興していた事も記録に残されています。</p>
<p>実施主体</p>	<p>堺市、大阪府、鉄軌道事業者</p>
	<p>長い歴史の中、東西鉄軌道には多くの方が夢を寄せていたという文脈のもと、これまでの経験も踏まえ、しっかりと素晴らしい計画が生み出される事を祈念します。新線建設とは、導入までの過程において、既にドラマが始まっているものと確信しています。</p>